

第1章 計画策定の概要

1 計画策定の趣旨と目的

市原市立中央図書館（以下「中央図書館」という。）は、図書館法第2条「図書館は、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、住民に提供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設」の趣旨に沿い、平成3年11月に設置された市内唯一の公立図書館です。

平成24年2月には、「市原市図書館サービス計画」を策定し、「やすらぎと活力をささえ市民とともに成長する図書館」を基本理念として、図書や雑誌の提供、読書活動の推進、調査研究への支援等、生涯学習の機会と情報を提供するほか、公民館等図書室とのネットワークの中核施設としての役割を担ってきました。

近年公立図書館を取り巻く社会情勢は、人口減少や超少子高齢社会の進行、パソコンやスマートフォン等からの情報収集、電子書籍の普及など、大きく変化し個々の趣味・志向や価値観も多様化してきたことから、これまで以上にさまざまな情報を提供することが重要になってきています。

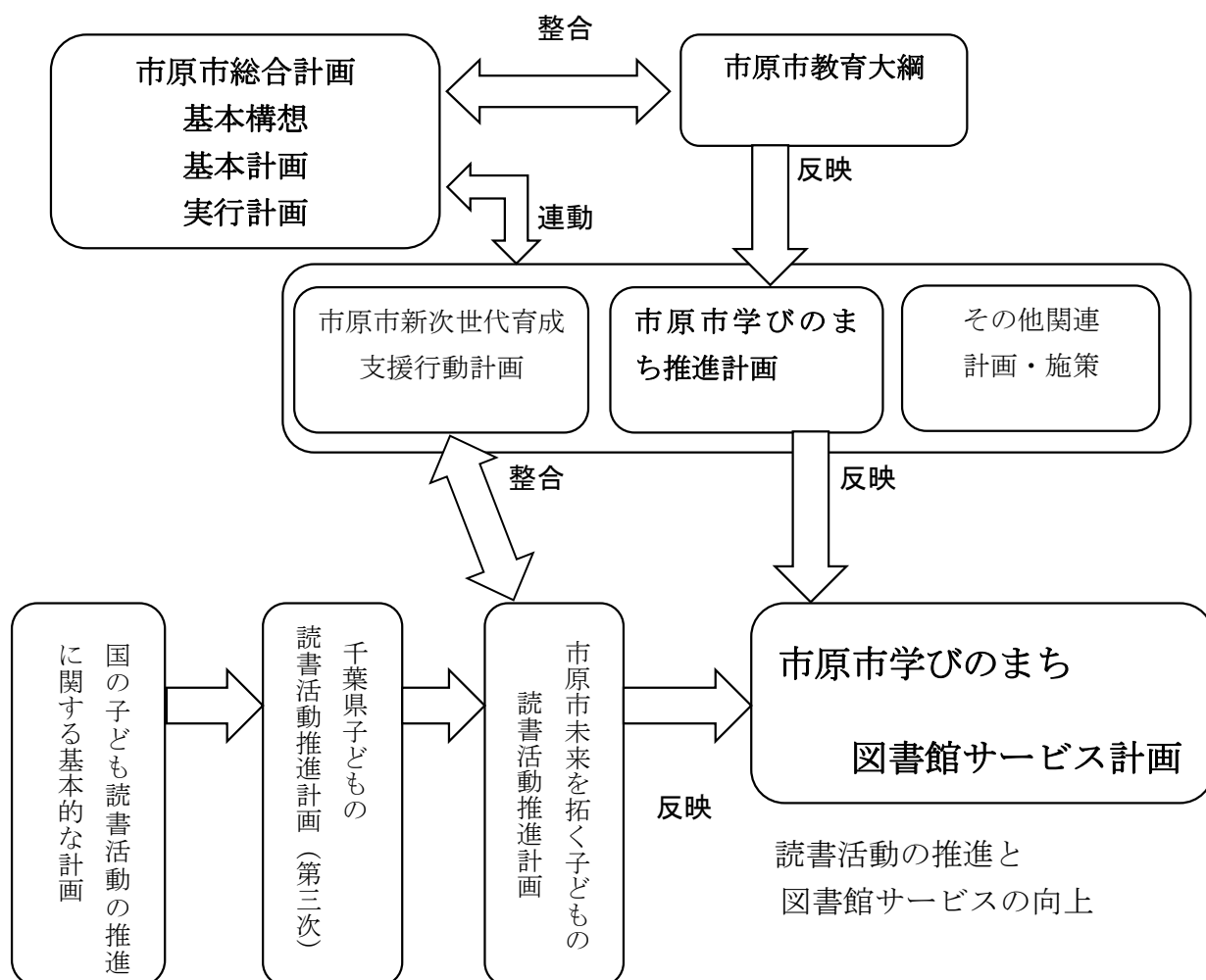
このような中で、中央図書館は、市民に役立つ情報を収集し、市原市に愛着と誇りを持てるような情報を提供していく「知の情報拠点」としての役割を果たし、ひとづくり・まちづくりを目指すことが重要になってきています。

生涯学習の計画である「市原市学びのまち推進計画」の実現に向け、子どもから高齢者までのすべての世代が、それぞれの課題解決をするために必要な情報や知識を得る機会を提供し、今後の図書館サービスの向上を総合的かつ計画的に推進するため、「市原市学びのまち 図書館サービス計画」を策定します。



2 計画の位置付け

「市原市総合計画」並びに、教育行政においては、「市原市教育大綱」「市原市学びのまち推進計画」を上位計画とし、他の関連計画との整合のもと、全住民を対象にした図書館サービスの向上を図る計画として策定します。



3 計画の期間

「市原市学びのまち推進計画」(計画期間：2017年度～2026年度)との整合を図るため、10年間とします。

期間中において、計画の達成状況、中央図書館の取り巻く社会情勢の変化等を踏まえ、必要があるときに見直しを行うこととします。

第2章 図書館の現状と課題

1 公立図書館を取り巻く動向

(1) 社会情勢の変化と図書館の役割

公立図書館を取り巻く環境については、第1章で述べたとおり、超少子高齢社会の進行、経済・雇用情勢の変化、高度情報化社会の進展、国際化等大きく変化し、図書館に対する要望は、複雑化してきています。

図書館は、個人の価値観やライフスタイルが多様化する中で、誰もが、いつでも活用できる身近な場として、さまざまな情報を提供する大きな役割を持っています。

すなわち、「困った」「分からない」といった時に、図書館が、利用者にとって相談しやすい環境を整備し、地域・学校・企業などと連携し、国、県の動向やアンケートに基づく課題などを踏まえ、ライフステージに応じた「学び」を支援することが求められています。

(2) 国の動向（図書館行政に関する事項）

国は、図書館が担うべき役割や責務を明確にするため、関連法の整備や提言を行ってきました。主なものは次のとおりです。

◆「図書館法」（昭和25年4月30日制定）

この法律は、社会教育法（昭和24年法律第207号）の精神に基づき、図書館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もって国民の教育と文化の発展に寄与することを目的として制定されました。

平成20年の改正では、教育基本法の改正を踏まえ、図書館が行う事業に、学習の成果を活用して行う教育活動の機会を提供することを追加しています。また、図書館の健全な発達を図るために、図書館の設置及び運営上望ましい基準を定めこれを公表することとしたほか、公共図書館運営の評価と改善、並びに運営状況に関する積極的な情報提供について規定しています。

◆「文字・活字文化振興法」（平成17年7月施行）

文字・活字文化の振興に関し、基本理念を定め、国や地方公共団体の責務を明らかにするとともに、地域における文字・活字文化の振興や、公立図書館が住民に対して適切な図書館奉仕を提供することができるよう、司書の充実等の人的体制の整備、図書館資料の充実、情報化の推進等の物的条件の整備その他の公立図書館の運営の改善及び向上のために必要な施策を講ずるものとし、これを受けて、文部科学省においては、図書館の充実、読書活動の推進、学校図書館の充実等の施策の一層の推進などの「文字・活字文化」の普及・啓発に取り組んでいくこととしています。

◆「これからの図書館像～地域を支える情報拠点をめざして～」

（これからの図書館の在り方検討協力者会議（文部科学省）：平成18年4月）

「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成13年文部科学省告示第132号）施行後の社会や制度の変化、新たな課題等に対応し、「地域を支える情報拠点」として、「地域や住民にとって役に立つ図書館」となるよう、必要な情報を迅速かつ的確に得ることができるように、レファレンスサービス※1や多様な情報・資料の充実など図書館運営に必要な方策等について提言しています。

◆「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第三次）」

（平成25年5月閣議決定）

「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年12月施行）に基づき、第二次計画の成果や課題等を踏まえ、市町村は、都道府県推進計画又は市町村推進計画において、子どもの読書活動の推進について可能な限り具体的な目標を設定し、その達成状況等に関し点検及び評価を行うよう努め、公立図書館における子どもの読書活動の推進のための取組を規定しています。

◆図書館の設置及び運営上の望ましい基準

（平成24年12月19日文部科学省告示第172号）

図書館法（昭和25年法律第118号）第7条の2の規定に基づき、公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成13年文部科学省告示第132号）を改正し、平成24年12月19日から施行しています。

このなかでは、資料（電磁的記録を含む。以下同じ。）や情報の提供等の利用者及び住民に対する資料や情報の直接的なサービスの実施や、読書活動の振興を担う機関として、また、地域の情報拠点として、利用者及び住民の要望や社会の要請に応え、地域の実情に即した運営に努めるものとされています。

.....
※1 レファレンスサービス

参考調査・参考業務ともいう。利用者の調査研究の求めに応じ、図書館職員が資料の検索や情報の提供等様々な支援を行うこと。

2 中央図書館の現状と課題

(1) 概要

中央図書館は、これまで、郷土資料の活用として、市原に縁があり社会に功績を残した人物を紹介する「ふるさと市原に輝く人物コーナー」を設置するなど、情報を発信してきました。

また、読書推進事業として、「子育て支援コーナー」や「ビジネス支援 ※2 コーナー」などの設置を行うほか、ホームページにマイ本棚 ※3 などの機能を追加し、利用者が活用できるサービスを提供しました。

館内環境の整備では、利用者が中央図書館を利用しやすいようにレイアウトやフロア名称の変更を行い、駐車場においては、区画の幅を広げました。

市内の読書施設 16 施設（公民館・コミュニティセンター）との連携では、これまで「図書館システムネットワーク」を構築し、資料の検索や予約、利用状況の確認ができるようにしたほか、どの施設が所蔵している図書等であっても、近くの施設で、受け取りや返却ができるようにしました。

また、視聴覚サービスとして、中央図書館以外の市内の読書施設で、予約資料の受付、貸出、返却を可能にするなど、利便性の向上を図りました。

(2) 現状と課題

読書施設の現状と課題について、前図書館サービス計画の実施結果と市民アンケートの両面から考察しました。

① 前計画の実施結果

平成24年2月に策定した「市原市図書館サービス計画」において、「～やすらぎと活力をささえ市民とともに成長する図書館～」を基本理念とし、以下の4つの基本目標を掲げ、116の事業を行ってきました。

《基本目標》

- I. いちはらの情報拠点として、市民に役立つ図書館
 - II. 市民がつどい、ともにふれあい、親しむ図書館
 - III. 地域や学校等との連携をすすめ、豊かな心をはぐくむ図書館
 - IV. すべての市民にやさしい図書館
-

※2 ビジネス支援

起業や商品開発などビジネス関連の資料や情報を提供するサービス。

※3 マイ本棚

市原市立図書館ホームページをご自分の本棚としてご利用いただける機能です。

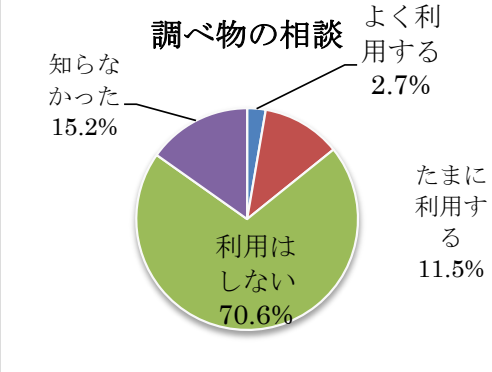
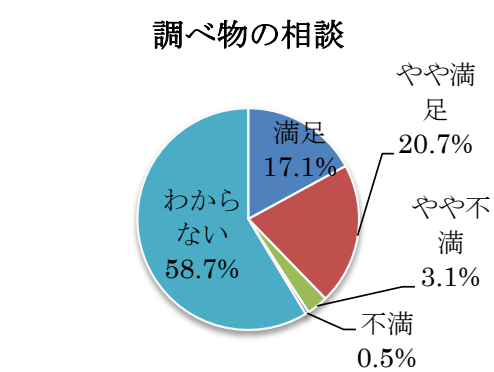
I. いちはらの情報拠点として、市民に役立つ図書館

事業項目	(1) 資料の充実																								
実施結果	市民ニーズに応え、資料の量と質に配慮した収集・整備を図るため、資料選定会議を週1回実施しています。 視聴覚資料については、計画的な収集・整備を行い、カセットテープやビデオテープから、CD・DVDといった媒体へ購入を変更しました。 また、ブルーレイソフト、電子書籍についても、出荷・配信状況を確認して導入を検討しました。 団体向けの視聴覚サービス（視聴覚ライブラリー）では、年間延べ100を超える団体に機材や教材を貸出しました。 蔵書冊数 平成22年度末 1,036,454冊→平成27年度末 1,101,634冊 (視聴覚資料を含む。)																								
利用者アンケート※4の結果	サービスについての満足度 図書 <table border="1"> <caption>図書満足度</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>42.2%</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>43.4%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>7.8%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>1.8%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>4.8%</td> </tr> </tbody> </table> 雑誌・新聞 <table border="1"> <caption>雑誌・新聞満足度</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>26.5%</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>37.2%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>7.8%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>2.7%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>25.8%</td> </tr> </tbody> </table>	満足度	割合	満足	42.2%	やや満足	43.4%	やや不満	7.8%	不満	1.8%	わからない	4.8%	満足度	割合	満足	26.5%	やや満足	37.2%	やや不満	7.8%	不満	2.7%	わからない	25.8%
満足度	割合																								
満足	42.2%																								
やや満足	43.4%																								
やや不満	7.8%																								
不満	1.8%																								
わからない	4.8%																								
満足度	割合																								
満足	26.5%																								
やや満足	37.2%																								
やや不満	7.8%																								
不満	2.7%																								
わからない	25.8%																								
課題	限られた資料購入予算の中で、計画的な資料整備を行い、幅広い市民ニーズに応える必要があります。																								



※4 利用者アンケート

平成28年3月8日（火）～3月13日（日）計6日間中央図書館の来館者480人を対象に、利用実態や市民ニーズを把握するため、アンケート調査を実施しました。有効回答者数473人（98.5%）。

事業項目	(2) レファレンスサービスの充実
実施結果	市民に対するレファレンスサービスに加え、市の各部署からの問合せに対してもレファレンスサービスを実施しました。オンラインデータベース ※5 の拡充や、パスファインダー ※6 の作成など、サービスの拡充を図りました。
利用者アンケートの結果	図書館の利用の仕方について  調べ物の相談 よく利用する 2.7% たまに利用する 11.5% 利用はしない 70.6% 知らない 15.2% サービスについての満足度  調べ物の相談 満足 17.1% やや満足 20.7% やや不満 3.1% 不満 0.5%
課題	アンケートでは、調べ物の相談について利用しない・知らなかったと回答した割合が約86%であり、また、満足度については、満足・やや満足と回答した割合が約37%にとどまっていることから、サービスの更なる周知を図り、「レファレンス」の認知度や満足度を高める必要があります。

事業項目	(3) 特色を打ち出した情報サービス									
実施結果	郷土の歴史や地誌に関わる資料の収集に努めるとともに、市が発行する行政資料や地域情報誌を収集することで、郷土資料の充実を図りました。 また、市原に縁があり社会に功績を残した人物を紹介する『ふるさと市原に輝く人物コーナー』を設置しました。 ビジネス支援サービスの充実として、ビジネス支援コーナーを設置し、関連図書の充実やパスファインダーの作成などにより、情報の発信を図りました。 また、市の関係部署と連携し、医療・健康情報のほか、行政情報の発信を行いました。									
利用者アンケートの結果	今後どのようなサービスの充実及び新しいサービスを行ったら良いか。 <table><tr><td>医療・健康情報の発信</td><td>4.1%</td><td>75 件</td></tr><tr><td>郷土資料</td><td>2.0%</td><td>36 件</td></tr><tr><td>ビジネス支援</td><td>1.0%</td><td>16 件</td></tr></table>	医療・健康情報の発信	4.1%	75 件	郷土資料	2.0%	36 件	ビジネス支援	1.0%	16 件
医療・健康情報の発信	4.1%	75 件								
郷土資料	2.0%	36 件								
ビジネス支援	1.0%	16 件								
課題	郷土資料は、地域への愛着と理解を深める資料であり、次世代のためにも、中央図書館が継続的に資料の収集・保存・活用をしていく必要があります。 また、地域や生活の課題解決を支援するため、医療・健康・ビジネス等の資料の充実を図り、それらを活用したサービスを行う必要があります。									

※5 オンラインデータベース

館内でネットワークを経由し、新聞記事や法情報などのデータを検索できるサービス。

※6 パスファインダー

あるテーマに関する資料や情報を探すための手順を簡単にまとめたもの。

事業項目	(4) 図書館資源の有効活用																								
実施結果	ホームページの充実として、「マイ本棚」 や「新着資料お知らせサービス」※7 を開始しました。 また、年間を通じて、展示架やセレクトブックコーナーにおいて様々な中央図書館資料を展示し、紹介しました。 書庫の収蔵状況を把握し、雑誌の保存年限の再検討や、時期を見極めながら適切な廃棄などを行い、量と質に配慮した計画的な蔵書管理を行いました。																								
利用者アンケートの結果	サービスについての満足度 資料展示コーナー <table border="1"> <caption>資料展示コーナーの満足度</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>13.5%</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>25.8%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>5.8%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>1.4%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>53.4%</td> </tr> </tbody> </table> ホームページ <table border="1"> <caption>ホームページの満足度</caption> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>15.2%</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>25.8%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>4.6%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>3.4%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>51.0%</td> </tr> </tbody> </table>	満足度	割合	満足	13.5%	やや満足	25.8%	やや不満	5.8%	不満	1.4%	わからない	53.4%	満足度	割合	満足	15.2%	やや満足	25.8%	やや不満	4.6%	不満	3.4%	わからない	51.0%
満足度	割合																								
満足	13.5%																								
やや満足	25.8%																								
やや不満	5.8%																								
不満	1.4%																								
わからない	53.4%																								
満足度	割合																								
満足	15.2%																								
やや満足	25.8%																								
やや不満	4.6%																								
不満	3.4%																								
わからない	51.0%																								
課題	アンケートでは、資料展示コーナーやホームページについてわからないと回答した割合が50%以上であることから、魅力ある中央図書館情報を発信することで、資源を有効活用する必要があります。																								

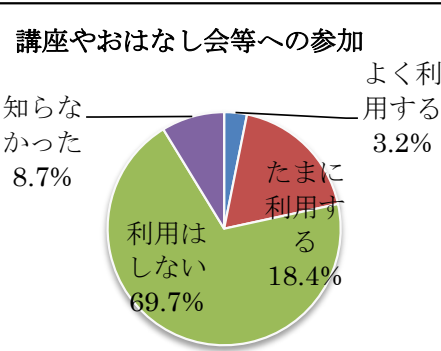
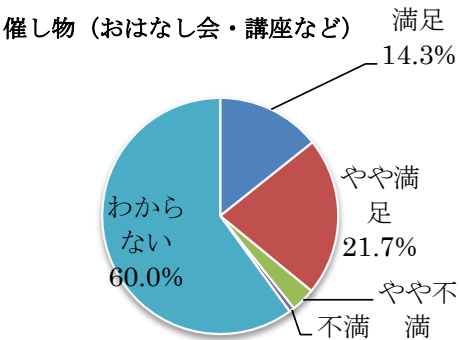


.....

※7 新着資料お知らせサービス

市原市立図書館ホームページの活用により関心のあるキーワードを登録しておく、その条件にあった本が新たに蔵書に加わった時、週に一度図書館からメールでお知らせします。

Ⅱ. 市民がつどい、ともにふれあい、親しむ図書館

事業項目		(1)図書館の利用促進																											
実施結果		春の読書週間には、「子ども読書の日」 ※8 の趣旨に沿い、子ども向けイベントを開催し、秋の読書週間には、一般向けのイベントを開催しました。また中央図書館の利用促進を図るため、歴史講座や文学講座など教養を深める講座を開催するとともに、読書に関心を持つ機会として、子ども読書感想画コンテストの実施や季節に応じた特集コーナーの企画展示を行いました。																											
利用者アンケートの結果		図書館の利用の仕方について			サービスについての満足度																								
		講座やおはなし会等への参加  <table><tr><th>利用の仕方</th><th>割合</th></tr><tr><td>よく利用する</td><td>3.2%</td></tr><tr><td>たまに利用する</td><td>18.4%</td></tr><tr><td>利用はしない</td><td>69.7%</td></tr><tr><td>知らなかった</td><td>8.7%</td></tr></table>			利用の仕方	割合	よく利用する	3.2%	たまに利用する	18.4%	利用はしない	69.7%	知らなかった	8.7%	催し物（おはなし会・講座など）  <table><tr><th>満足度</th><th>割合</th></tr><tr><td>満足</td><td>14.3%</td></tr><tr><td>やや満足</td><td>21.7%</td></tr><tr><td>やや不満</td><td>3.3%</td></tr><tr><td>不満</td><td>0.7%</td></tr><tr><td>わからない</td><td>60.0%</td></tr></table>			満足度	割合	満足	14.3%	やや満足	21.7%	やや不満	3.3%	不満	0.7%	わからない	60.0%
利用の仕方	割合																												
よく利用する	3.2%																												
たまに利用する	18.4%																												
利用はしない	69.7%																												
知らなかった	8.7%																												
満足度	割合																												
満足	14.3%																												
やや満足	21.7%																												
やや不満	3.3%																												
不満	0.7%																												
わからない	60.0%																												
課題		年間のイベント等参加者数は、増加傾向にあります。今後は、中央図書館を利用されたことがない人にも関心を持っていただける講座・イベント等を行う必要があります。																											
関連統計		年間のイベント等参加者数口				27年度目標値																							
						3,500人																							
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度																						
		3,219人	2,695人	3,280人	3,775人	4,081人	4,386人																						

※8 子ども読書の日

国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深め、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために、「子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年12月）の施行に伴い、4月23日が「子ども読書の日」と定められました。

事業項目 (2) 図書館事業に関する市民との協働	
実施結果	読み聞かせや音訳者等の読書ボランティア養成講座を開催し、ブックスタート ※9 や図書修理、おはなし会、対面朗読 ※10 など読書ボランティアの協力を得ました。
課題	読書ボランティアの登録者数は、現在100名を超えていますが、人材の養成や活動機会の拡充など市民との協働による活動推進をする必要があります。
関連統計	平成24年3月に読書ボランティア人材バンク制度を立ち上げました。 登録者数 平成24年度末 72名 ⇨ 平成27年度末 103名 読書ボランティア参加者数 平成24年度 延べ327人 ⇨ 平成27年度 延べ464人



.....

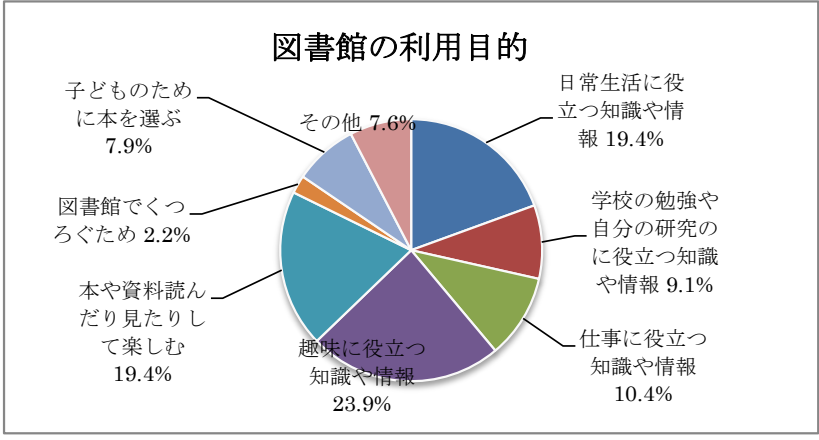
※9 ブックスタート事業

乳幼児健診の機会に、赤ちゃんと保護者に対し、親子で一緒に絵本を楽しむことの大切さを伝えながら、絵本を手渡す運動。

※10 対面朗読

印刷された資料を自力で読むことが困難な人に対して、朗読者が代わりに資料を読むサービス。

Ⅲ. 地域や学校等との連携をすすめ、豊かな心をはぐくむ図書館

事業項目	(1) 子どもの読書活動の推進に係る連携
実施結果	職場体験やインターンシップの実施、学校へのおはなし会など学校との連携を進めるとともに、地域で読書普及活動や読書機会の提供を行う関係機関・団体等に団体用図書の貸出を行い、利用の促進を図りました。 市民・学校・中央図書館との協働による「子ども読書活動推進フォーラム」※１１の開催や、生涯学習出前講座「おでかけくん」※１２を利用した学童保育や地域の読書ボランティア団体などへ出張おはなし会を実施しました。 「子ども読書活動推進支援連絡会議」※１３においては、意見交換や課題解決のための協議を行いました。
利用者アンケートの結果	
課題	子どもの発達段階に応じた読書の環境づくりには、資料の充実を図るとともに家庭、地域、学校等地域全体の連携を深めていく必要があります。

事業項目	(2) 企業等との連携
実施結果	ジェフ千葉や小湊鐵道、法テラス等と連携し、おはなし会や講座を開催しました。
課題	市内の企業や医療機関等と各分野に特化した情報収集や資料の提供など連携を深めていく必要があります。
関連統計	平成２７年５月から 雑誌スポンサー制度を募集。 平成２７年度は、４社より、２６誌の申込みをいただきました。

※１１ 子ども読書活動推進フォーラム

子どもの読書活動の推進に関し、市民・関連団体・学校・中央図書館との協働により、広く市民の関心を高め、その理解を深めることを目的として行う行動。

※１２ おでかけくん

市職員が講師として出向き、市の施策・事業の説明や、講習会などを行う事業。

※１３ 子ども読書活動推進支援連絡会議

子どもたちの読書活動を総合的に推進し、子どもたちの情報活力能力の育成支援について、より一層充実した施策を実施することを目的として、市原市立小・中学校、中央図書館等関係する部署の連携協力を図るため設置。

IV. すべての市民にやさしい図書館

事業項目	(1) 特定の利用者へのサービス																								
実施結果	① 障がい者サービスについては、録音図書、DAISY図書 ※14 の貸出や、サピエ ※15 図書館によるDAISY図書の提供や、対面朗読サービス及び、布の絵本やさわる絵本を整備し、障がいを持つ子どもの読書支援を行いました。 ② 多文化サービスについては、多様な分野の外国語資料の収集を図るとともに、多文化をテーマにしたおはなし会を開催しました。 また、市原湖畔美術館と連携を図り「英語でおはなし会」を開催しました。 ③ 子育て世代へのサービスについては、「子育て支援コーナー」を6月、9月、2月に設置し、子育てに関する情報の提供を行いました。 ④ 高齢者サービスについては、大活字図書 ※16 の整備や拡大読書器 ※17 を設置しました。																								
利用者アンケートの結果	サービスについての満足度 障がい者サービス <table border="1"> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>9.2%</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>12.6%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>1.4%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>1.7%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>75.1%</td> </tr> </tbody> </table> 資料のさがしやすさ <table border="1"> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満足</td> <td>28.0%</td> </tr> <tr> <td>やや満足</td> <td>44.8%</td> </tr> <tr> <td>やや不満</td> <td>14.9%</td> </tr> <tr> <td>不満</td> <td>1.6%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>10.7%</td> </tr> </tbody> </table>	満足度	割合	満足	9.2%	やや満足	12.6%	やや不満	1.4%	不満	1.7%	わからない	75.1%	満足度	割合	満足	28.0%	やや満足	44.8%	やや不満	14.9%	不満	1.6%	わからない	10.7%
満足度	割合																								
満足	9.2%																								
やや満足	12.6%																								
やや不満	1.4%																								
不満	1.7%																								
わからない	75.1%																								
満足度	割合																								
満足	28.0%																								
やや満足	44.8%																								
やや不満	14.9%																								
不満	1.6%																								
わからない	10.7%																								
課題	高齢者や障がいのある人などが、中央図書館を利用しやすい環境を整え、また、来館困難者へのサービスを検討する必要があります。 また、子育て世代への情報提供や外国語資料の充実など、すべての市民にやさしい図書館づくりに取り組む必要があります。																								

※14 DAISY図書

視覚障がい者や印刷物を読むことが困難な人々のためにカセットに代わるデジタル録音図書のこと。

※15 サピエ

視覚障がい者及び視覚による表現の認識に障がいのある人に対して、点字、DAISYデータをはじめ、暮らしに密着した生活情報など情報を提供するネットワーク。

※16 大活字図書

大きな活字で印刷された図書のこと。

※17 拡大読書器

印刷物をカメラで読みとり、拡大して画面に映し出す機器のこと。

事業項目		(2)様々な利用者へのサービス																																																									
実施結果		衛生環境への配慮として入口にアルコール消毒液を設置しました。 電算システムの更新や、視聴覚資料を公民館等で貸出返却等ができるようにサービスの向上を図りました。 職員の各種研修会の参加やマニュアルの作成により、業務水準の向上に努めました。																																																									
利用者アンケートの結果		サービスについての満足度 総合的な満足度 <table><tr><th>満足度</th><th>割合</th></tr><tr><td>満足</td><td>34.6%</td></tr><tr><td>やや満足</td><td>45.2%</td></tr><tr><td>ふつう</td><td>16.9%</td></tr><tr><td>やや不満</td><td>2.9%</td></tr><tr><td>不満</td><td>0.4%</td></tr></table> 快適さ <table><tr><th>満足度</th><th>割合</th></tr><tr><td>満足</td><td>32.6%</td></tr><tr><td>やや満足</td><td>47.9%</td></tr><tr><td>やや不満</td><td>12.2%</td></tr><tr><td>不満</td><td>3.3%</td></tr><tr><td>わからない</td><td>4.0%</td></tr></table> 利用者アンケートにおける満足度口 <table><tr><th>項目</th><th>22年度</th><th>25年度</th><th>26年度</th><th>27年度</th><th>目標値</th></tr><tr><td>開館時間</td><td>71%</td><td>78%</td><td>77%</td><td>75%</td><td rowspan="5">各項目に 関して毎回 85%以上(「満足」「やや満足」の計)</td></tr><tr><td>開館日</td><td>88%</td><td>82%</td><td>82%</td><td>79%</td></tr><tr><td>調べもの相談</td><td>92%</td><td>56%</td><td>41%</td><td>38%</td></tr><tr><td>催しもの(おはなし会、講座など)</td><td>89%</td><td>42%</td><td>36%</td><td>36%</td></tr><tr><td>職員の対応</td><td>95%</td><td>90%</td><td>91%</td><td>87%</td></tr></table>		満足度	割合	満足	34.6%	やや満足	45.2%	ふつう	16.9%	やや不満	2.9%	不満	0.4%	満足度	割合	満足	32.6%	やや満足	47.9%	やや不満	12.2%	不満	3.3%	わからない	4.0%	項目	22年度	25年度	26年度	27年度	目標値	開館時間	71%	78%	77%	75%	各項目に 関して毎回 85%以上(「満足」「やや満足」の計)	開館日	88%	82%	82%	79%	調べもの相談	92%	56%	41%	38%	催しもの(おはなし会、講座など)	89%	42%	36%	36%	職員の対応	95%	90%	91%	87%
満足度	割合																																																										
満足	34.6%																																																										
やや満足	45.2%																																																										
ふつう	16.9%																																																										
やや不満	2.9%																																																										
不満	0.4%																																																										
満足度	割合																																																										
満足	32.6%																																																										
やや満足	47.9%																																																										
やや不満	12.2%																																																										
不満	3.3%																																																										
わからない	4.0%																																																										
項目	22年度	25年度	26年度	27年度	目標値																																																						
開館時間	71%	78%	77%	75%	各項目に 関して毎回 85%以上(「満足」「やや満足」の計)																																																						
開館日	88%	82%	82%	79%																																																							
調べもの相談	92%	56%	41%	38%																																																							
催しもの(おはなし会、講座など)	89%	42%	36%	36%																																																							
職員の対応	95%	90%	91%	87%																																																							
課題		開館後 25 年が経過し、施設が老朽化してきているので、長寿命化への対応や計画的な施設修繕を行う必要があります。 より使いやすい電算システムの導入や、開館時間の拡充などの検討を行う必要があります。																																																									

② 市民意識（市民アンケート）

（ア）市民アンケート調査と概要

市民ニーズの把握やサービス向上に関する具体的方策の検討等に資することを目的として、下記のとおり市民アンケート調査を実施しました。

《概要》

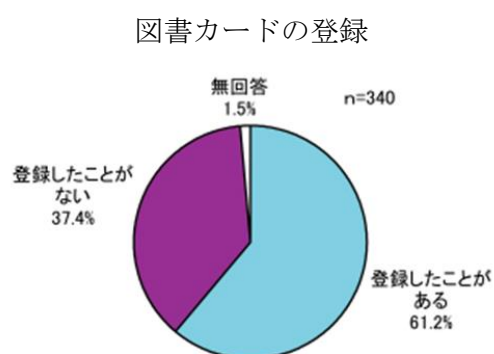
- ①調査地域：市内全域
- ②調査対象：市内に居住する中学生以上の男女
- ③抽出方法：住民基本台帳による無作為抽出
- ④調査方法：郵送配布・郵送回収
- ⑤調査時期：平成27年11月17日～12月1日
- ⑥配布数：1,000（有効回答者数340）

（イ）調査結果（抜粋：詳細は巻末資料を参照）

① 市内読書施設の利用状況

■クロス集計：年齢別×過去1年間の読書施設の利用状況
※上段：回答者数（人）、下段：構成比（%）

利用状況 年齢	合計	問7 過去1年間の読書施設の利用状況		
		利用した	利用していない	無回答
全体	340 100.0	125 36.8	213 62.6	2 0.6
12～18歳	22 100.0	7 31.8	15 68.2	0 0.0
19～29歳	31 100.0	17 54.8	14 45.2	0 0.0
30歳代	33 100.0	11 33.3	22 66.7	0 0.0
40歳代	45 100.0	18 40.0	27 60.0	0 0.0
50歳代	58 100.0	15 25.9	43 74.1	0 0.0
60歳代	87 100.0	32 36.8	55 63.2	0 0.0
70歳代	50 100.0	21 42.0	29 58.0	0 0.0
80歳以上	14 100.0	4 28.6	8 57.1	2 14.3



過去1年の市内読書施設の利用状況を聞いたところ「利用した」は36.8%、「利用していない」は62.6%でした。

【課題】

回答者のうち図書利用カード登録率は61.2%でした。利用状況に関するアンケート調査の6割以上の方が過去1年間に市内の読書施設を利用していないのが現状でした。年代別に見ると、19～29歳の利用は5割を超えている一方、他の年代は利用していない割合が、大きくなっています。

また、利用していない人にその理由を聞いたところ、1位は「利用する時間がないから」で以下、「本や雑誌はあまり読まないから」「本や雑誌などは自分で買うから」「返却するのが面倒だから」と続きます。

上記の理由のほかでは、「開館日や開館時間が自分の都合に合わないから」「近くに施設がなく施設までの交通が不便だから」が比較的多い割合になっています。

さらに、中央図書館の行っているサービスの認知度を聞いたところ、知らないという意見が最も多かったのが「館報を発行していること」87.3%で以下、「パスワードを登録すると本や雑誌などの予約・貸出延長ができる」84.5%となっています。年代別でも職業別でもおおむね同様の結果が出ています。

読書施設をより多くの人に利用していただくため、開館時間の拡充や、来館困難者への貸出・返却サービスの検討、情報発信等が課題として考えられます。

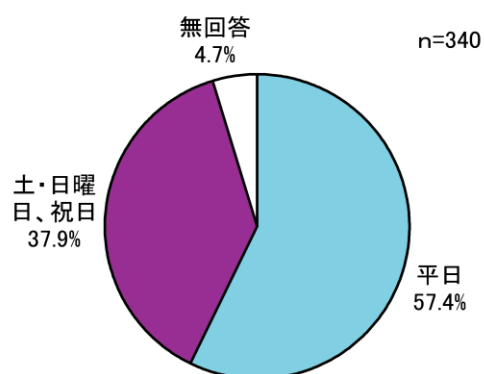
② 満足度

サービスの全体評価



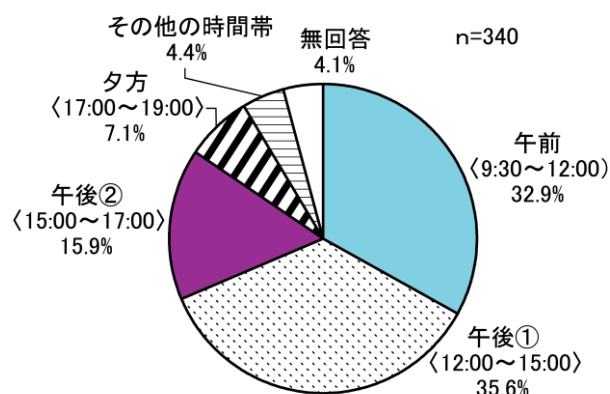
よく利用する読書施設の＜ハ 総合的な満足度＞について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は40.8%と全体の4割を占めており、「やや不満」と「不満」をあわせた『不満』の7.2%を大きく上回っています。但し「不満」は0.0%となっています。

利用したい曜日



「平日」が57.4%と5割を超えている一方で、「土・日曜日、祝日」は37.9%となっており、「平日」が「土・日曜日、祝日」を上回っています。

利用したい時間帯



「午後① (12:00～15:00)」が35.6%と最も高く、次いで「午前 (9:30～12:00)」が32.9%、「午後② (15:00～17:00)」が15.9%、「夕方 (17:00～19:00)」が7.1%と続いています。

【課題】

総合的な満足度では、満足・やや満足と回答した人は、40.8%であり、普通と回答した人を合わせると全体の85%を超えているので、現在、中央図書館を利用している人には、これからも中央図書館へ来てよかったと評価していただけるように図書館サービスの向上に努める必要があります。

また、利用したい曜日・時間帯では、平日の午後を利用したいという意見が多く、その他の時間帯の意見では、18時以降を希望する人が大半を占めていました。開館日・開館時間については、慎重に検討する必要があります。

③ 読書施設への要望

合計	問10-2 読書施設に望むサービス															
	本の充実 (数量や 種類)	雑誌の充 実(数量 や種類)	視聴覚資 料の充実 (数量や 種類)	インター ネット検 索がで きるパ ソコンの 充実	新聞記事 などのデ ータベー スの充 実	専門書の 充実	ティーン ズ向け資 料の充実	郷土資料 の充実	おはなし 会など児 童向け サービス	障がい者 向けの サービスの 充実	映画会や 講演会な どの充実	ホーム ページを 使った情 報提供	資料展示 の充実	リサイク ル図書の 活用	検索端末 の使い方 等図書 館活用講 座の開催	
	340 100.0	155 45.6	85 25.0	25 7.4	56 16.5	27 7.9	47 13.8	10 2.9	41 12.1	36 10.6	26 7.6	48 14.1	27 7.9	16 4.7	35 10.3	6 1.8

駅や書店 で資料返 却ボック スの設置	貸出期間 の延長	貸出冊数 の増加	開館時間 の延長	休館日を 減らす	予約件数 の増加	飲食ス ペースの 提供	Wi-fiの 提供	資料の宅 配サービ スの提供	託児サー ビスの提 供	新しいメ ディア (電子書 籍など)	法情報の 発信(身 近な法律 講座等)	ビジネス 支援(地 元企業情 報発信)	医療・健 康情報の 発信	その他
	71 20.9	44 12.9	22 6.5	60 17.6	19 5.6	9 2.6	83 24.4	57 16.8	28 8.2	28 8.2	27 7.9	12 3.5	13 3.8	78 22.9

読書施設で今後行ってほしいサービスの充実や新しいサービスについては、サービスの充実として最も多かったのは、本の充実（数量や種類）155件で以下、雑誌の充実（数量や種類）85件、医療・健康情報の発信（コーナーの充実等）78件、インターネット検索ができるパソコンの充実56件など多数の意見がありました。

新しいサービスとして最も多かったのは、飲食スペースの提供83件で、以下、駅や書店などでの資料返却ボックスの設置71件、開館時間の延長60件など多数の意見がありました。

【課題】

これらの意見についても、またその他の自由回答でいただいた意見（インターネットやメールでの情報提供や貸出サービスが欲しい4件、子ども用のスペースや児童書コーナーで座れる場所があると良い3件、一般読書スペースと分けて、自習できるスペースを増やして欲しい3件など）についても、今後の中央図書館に求めていることとして、実現性と効果を検証し、図書館サービスの向上を図る要素として検討していく必要があります。

3 課題のまとめ

中央図書館を取り巻く環境や現状のサービス評価、市民アンケートの結果などを踏まえ、課題を次のとおり整理しました。

◇課題1◇ レファレンスサービスの充実

社会情勢の変化や、個人の趣味・志向や価値観も多様化する中で、地域の課題や日常生活の課題解決のための支援や、学習や仕事の問題を解決するために必要な資料や情報を提供することは、重要な役割となります。

司書の専門性と蓄積された経験を生かし、地域密着型の図書館サービスや、他分野との連携の強化によって、地域市民自らが課題解決に取り組む、市民主体のまちづくりとひとづくりに貢献できる「拠点」としての役割を担っていく必要があります。

◇課題2◇ 図書館の認知度の向上と広報の強化

中央図書館に足を運んでもらうことで、中央図書館を知ってもらい、直接的サービスである本の貸出以外の図書館サービスの認知度を向上させる必要があります。

そのため、市のホームページや広報紙、民間の情報媒体などを通じて広報の強化を行うとともに、世代を問わずに楽しめるイベントや市民の役に立つ講演・講座を開催し、中央図書館の満足度と利用の促進を図っていく必要があります。

◇課題3◇ 学校や関係機関との協力・連携体制の強化

子どもの読書活動を推進するために、調べ学習の支援や団体貸出の充実など学校への支援を効果的に行うためには、乳幼児の時期から成長段階に応じた学校や関係機関との協力、連携が必要不可欠です。

そのため、中央図書館では、「市原市未来を拓く子どもの読書活動推進計画」に基づき、学校等と連携した取組を進めていく必要があります。

また、中央図書館の情報提供能力を向上させるため、専門的な知識や情報を有する大学や関係機関に働きかけ、連携・協力を図っていく必要があります。

◇課題4◇ 利用者の立場に立ったサービスの展開

中央図書館は、子どもから大人まで、さまざまな目的で利用します。

このため、誰でも気軽に利用できる学びの施設として、利用者が快適で便利と感じるきめ細かなサービスの提供に努める必要があります。

また、交通事情などの諸事情により、中央図書館の利用が困難な人に対しても、提供可能なサービスについて検討していく必要があります。

第3章 基本理念と基本目標

国の「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成24年改正）において、図書館は、利用者に対する直接的な情報提供や、読書活動の振興を担い、また、地域の情報拠点として、利用者及び住民の要望や社会の要請に応え、地域の実情に即した運営に努めるものとされています。

市原市の図書館サービスを総合的に向上させるためには、課題や社会情勢の変化等を踏まえ、さまざまな分野と連携をとりながら、各々の事業を展開していくことにより、「知の情報拠点」として日常生活の中の課題解決や仕事に役立つ情報を積極的に提供する役割を担う必要があります。

このような視点から、中央図書館の目指すべき基本理念及び基本目標を次のとおり定めます。

1 基本理念

<<市原市学びのまち推進計画>>

全ての市民の「総合的な力の向上」が図れるよう、いつでも、どこでも、その状況に応じた学びの機会が得られ、学びを継続でき、学びの成果を活かすことができる基本理念「ひときらめく 学びのまち いちはら」をめざします。

図書館は、基本的方向1「学びたいを支援します」として、図書館の充実を掲げています。

<<市原市学びのまち 図書館サービス計画>>

中央図書館は、図書や雑誌等の豊富な情報と司書の専門性を活用し、市民一人ひとりのニーズや課題の解決に即した「知の情報拠点」として、市民の学びたいを支援します。

子どもから大人までの、生涯学習と課題解決の拠点となり、明るい未来を創造する人があふれていきます。

以上の考えに基づき、基本理念を次のとおり定めます。

未来を創造する学びの図書館

2 基本目標・指標

基本理念に基づき、サービスの向上を実現するため、次の4つの基本目標を設定し、具体的な取組を進め、「基本目標」ごとにその達成状況を数値で示すものとして、「指標」を設定します。

(1) 基本目標

➡ **基本目標Ⅰ** 知の情報拠点として市民が活用できる図書館

社会情勢の変化や個々の趣味や価値観の多様化に対応し、必要とする情報を的確かつ迅速に提供するためには、より高度な情報収集機能と提供が必要となり、資料の検索や読書相談に応じるレファレンスの業務の充実を図ります。

➡ **基本目標Ⅱ** 人・本・情報の橋渡しをする図書館

読書に対する関心を高め、各年齢層の利用促進を図るため、イベントや各種講座の開催、企画展示などを通して、「人と人」、「人と本」、「人と情報」の新たな出会いのきっかけづくりを提供する拠点としての取組を充実させていきます。

➡ **基本目標Ⅲ** 豊かな心を育む図書館 -学校や関係機関との連携を深める-

公民館・コミュニティセンターや幼稚園・保育所・認定こども園・学校等との連携を進め、読書普及活動を通じて、各年齢層における豊かな心の醸成を図ります。読書ボランティアとの連携、市民との協働を進めます。

➡ **基本目標Ⅳ** みんなにやさしい図書館

すべての人が快適に利用できるよう、各種サービスや読書環境の向上を図ります。また、老朽化してきた施設の計画的な改修や、インターネットをはじめとする電子媒体（ICT ※18）の活用方法を支援し、効果的な図書館サービスの提供を進めます。

.....
※18 ICT

ICTは、「情報通信技術」の略で、コンピュータやネットワークに関連する諸分野における技術・産業・設備・サービスなどの総称である。

IT「情報技術」とほぼ同義の意味を持つ。

(2) 指標

指標	内容	現状値		10年後の 目標値
指標① 年間のレファレンス件数	市民の抱える課題の解決や調査・研究、各種の情報提供に寄与するレファレンスに関する指標です。	3,842 件		4,600 件
指標② 市民一人当たりの年間貸出点数	中央図書館の資料がどのくらい利用されているのかを測る指標です。	5.6 点		6.2 点
指標③ 郷土関係図書の蔵書数	郷土について幅広い知識を深めるために必要な資料の収集を測る指標です。	13,869 冊		15,300 冊
指標④ 年間の入館者数	資料の貸出や閲覧、イベントへの参加、レファレンスサービスなど全てを含んだ中央図書館利用の割合を測る指標です。	462,083 人		472,000 人
指標⑤ 年間のイベント等参加者数	中央図書館が主催する各種イベント等の効果を測る指標です。	4,386 人		4,900 人
指標⑥ 図書館外における読書普及活動の年間実施回数	学校への出張おはなし会・ブックトーク ※19 等中央図書館外における読書普及の活動の実績を測る指標です。	31 回		50 回
指標⑦ 利用者アンケートにおける満足度	中央図書館運営に関する利用者の満足度を測る指標です。	79.8 %		毎回85 %以上
指標⑧ 年間のホームページ等アクセス件数	市原市立図書館ホームページなどインターネットから情報を発信する利用度・認知度を測る指標です。	278,286 件		350,000 件以上
指標⑨ 年間のオンラインデータベース利用件数	情報提供サービスの充実と中央図書館機能の周知を測る指標です。	210 件		1,000 件以上

※19 ブックトーク

あらすじや著者紹介などを交え、本への興味がわくような工夫をこらしながら、本の内容を紹介すること。

3 計画の体系

基本理念を実現させるため、次のとおり4つの基本目標と、目標を柱とした施策の体系を定めます。

基本理念「未来を創造する学びの図書館」

<基本目標Ⅰ> 知の情報拠点として市民が活用できる図書館



- (1) 子ども読書活動の推進
- (2) 郷土資料の収集・保存・活用
- (3) ビジネス支援サービス
- (4) 医療・健康情報サービス
- (5) 法情報サービス

<基本目標Ⅱ> 人・本・情報の橋渡しをする図書館



- (1) 市民に広く、図書館機能を知ってもらうための取組
(読書週間に合わせたイベントや各種講座の開催、企画展示、集会室・視聴覚ホールの活用促進)

<基本目標Ⅲ> 豊かな心を育む図書館 -学校や関係機関との連携を深める-



- (1) 幼稚園、保育所、認定こども園、小学校等との連携によるサービス
- (2) 中学校や高等学校との連携によるサービス
- (3) 地域との連携や、読書ボランティアの活用によるサービス
- (4) 関係機関との連携によるサービス
- (5) 公民館・コミュニティセンターとの連携によるサービス
- (6) 大学との連携によるサービス

<基本目標Ⅳ> みんなにやさしい図書館



- (1) 館内環境の整備
- (2) 利用者のニーズに合わせたサービス
- (3) ICTを活用した図書館サービス
- (4) 地域情報・市の発行チラシ等の情報発信

第4章 具体的な取組

本計画の基本理念「未来を創造する学びの図書館」の実現のため、4つの基本目標それぞれについて、具体的な取組を掲げ展開を図ることで、目標の達成を目指します。なお、ここで掲げた事業の実施主体は中央図書館です。公民館・コミュニティセンター（図書室）においては、それぞれの地域の実情などに基づいた事業展開を図りつつ、必要に応じて中央図書館と連携し、また、本事業の内容を参考としながら、各地域における読書普及活動の活性化を図ります。

基本目標Ⅰ 知の情報拠点として市民が活用できる図書館

情報提供の拠点



（１）子ども読書活動の推進

乳幼児、小学生・中学生・高校生へのサービスについては、団体名で利用する図書利用カードを利用した貸出サービスやティーンズコーナー ※20 の充実、おはなし会など子ども向け集会行事を実施しています。

中央図書館は、「市原市未来を拓く子どもの読書活動推進計画」に基づき、学校や関係機関・団体等と連携・協力関係を深め、読書のきっかけづくりや環境づくりを図り、子どもの想像力や豊かな感性を磨けるよう年齢に応じた読書普及活動の推進を図ります。

◇取組内容◇

事業 番号	事業内容	新規・拡充・ 継続の別
1	〔子どもとともに取り組む読書活動〕 ブックリストの作成、イベントの開催など、子どもとともに読書活動に取り組みます。	新規
2	〔配本サービスの充実〕 団体配本を実施していない学校へ、巡回ポイントの拡充を図ります。	拡充

※20 ティーンズコーナー

おおむね13歳から18歳向けの青少年図書を揃えているコーナー。

3	〔読書手帳 ※21 の配布〕 読書手帳（小学生向け、中学生・高校生向け）を配布し、読書活動の推進を図ります。	拡充
4	〔発達段階に応じた図書・資料の充実〕 乳幼児・小学生・中学生・高校生と発達段階に応じて、レファレンスしながら、図書や資料の充実を図ります。併せて、子どもの調べ学習や自由研究に役立つ資料の収集を行い、教職員・学校司書・ボランティア団体等に提供していきます。	拡充

（２）郷土資料の収集・保存・活用

郷土・行政資料については、歴史や本市などに縁のある人物についての「そこに行かなければ読むことができない資料」であり、中央図書館が収集・保存・提供することで、将来にわたり、地域への愛着と誇りが深まり、市原ならではのひとづくり、まちづくりにつなげます。

また、市原市に関する資料、ポスター、チラシ等を積極的に収集し、展示などで提供し、市原市の魅力を発信していきます。

◇取組内容◇

事業 番号	事業内容	新規・拡充・ 継続の別
5	〔的確な資料提供〕 市原ならではのまちづくり活動を実施する団体等への資料、情報、活動機会の提供を行い、的確なレファレンスに努めます。	新規
6	〔郷土・行政資料のデジタル化〕 郷土資料の収集・保存するとともに、情報提供の方法として、デジタル化を検討します。	新規
7	〔郷土・行政資料の情報発信〕 資料展示コーナーの充実及び、行政サービスに関する市原市の情報発信コーナーの設置します。	新規
8	〔郷土・行政資料の収集・保存〕 地域性のある資料収集の観点から、企業ポスターや、チラシ、歴史や地誌に関する古文書などの資料収集・保存を図ります。	継続

※21 読書手帳

利用者自らが、読書の履歴を記載する手帳。読書活動の振り返りと読書意欲向上につながる取組。

(3) ビジネス支援サービス

ビジネス支援サービスについては、ビジネス活動や研究活動に従事する会社や勤労者に限らず、地域において起業・創業を考えている学生や主婦、中小企業経営者や個人商店の事業主まで幅広い人にビジネス支援コーナーやビジネス支援に役立つオンラインデータベースを提供しています。

中央図書館が行政機関や市原商工会議所をはじめとした関係機関、市外の公立図書館等とネットワークを結び、分野を問わず、さまざまな資料・情報を収集、提供し、利用者の課題解決となる支援をすることで、まちの暮らしを彩る地域産業が育つまちづくりにつなげます。

◇取組内容◇

事業 番号	事業内容	新規・拡充・ 継続の別
9	[企業紹介コーナーの設置] 社史、会社案内、製品カタログ等の整備を行い、地元企業紹介コーナーの設置を行います。	新規
10	[ビジネス支援レファレンスツールの充実] パスファインダー、ブックリストや、レファレンスの事例集、・オンラインデータベース等のビジネス支援ツールを充実させ、的確なレファレンスに努めます。	拡充
11	[ビジネス支援コーナーの充実] 創業、経営、経理、雇用等のビジネスに関連する資料を収集し、コーナーの充実努めます。	拡充



(4) 医療・健康情報サービス

医療・健康情報サービスについては、医療や健康について調べる手がかりとして役立つ本や雑誌、パンフレット類の提供をしています。

中央図書館が保健センターや医療関係機関との連携により、健康や病気の予防に関する適切な情報をより多くの人に提供することで、健康なまちづくりにつなげます。

◇取組内容◇

事業 番号	事業内容	新規・拡充・ 継続の別
1 2	[医療・健康情報の提供] 医療・健康情報の資料・オンラインデータベースを充実させ、情報の提供を行います。	拡充
1 3	[パスファインダー等の作成] 質問の多いテーマや市民の関心が高いテーマ等について、資料を活用した医療・健康情報のパスファインダーやブックリスト等を作成し提供します。	拡充
1 4	[関係機関との連携による医療・健康情報の展示] 市の関係部署や新たに医療関係機関と連携し、医療・健康情報の展示や啓発を行い、的確なレファレンスに努めます。	拡充

(5) 法情報サービス

法情報サービスについては、法律関係書、官報等の資料整備や法律情報のオンラインデータベースを提供しています。

専門的な法律から、生活に役立つ法律の情報まで、関連資料を充実させ生活に密着した法律情報の理解を広めることで、安心して豊かなまちづくりにつなげます。

◇取組内容◇

事業 番号	事業内容	新規・拡充・ 継続の別
1 5	[法律に関する講座の開催] 専門機関や法律の専門家等との連携による講座を開催します。	拡充
1 6	[法律情報の提供] 法律関係書、判例、官報等の資料整備や法律情報のオンラインデータベースで最新の情報を提供し、的確なレファレンスに努めます。	継続



(1) 市民に広く、図書館機能を知ってもらうための取組

(読書週間に合わせたイベントや各種講座の開催、企画展示、集会室・視聴覚ホールの活用促進)

読書に対する興味や学習の意欲を高め、日常生活の課題解決のために、中央図書館を有効に活用してもらうためには、もっと中央図書館のことを知ってもらうことが重要です。中央図書館を利用している方には、更に親しんでもらい、また、利用していない人には、中央図書館の魅力を知ってもらうきっかけとして、様々な講座やイベント、企画展示等を実施します。

◇取組内容◇

事業 番号	事業内容	新規・拡充・ 継続の別
17	〔中央図書館活用講座の開催〕 中央図書館の利用促進を図り、図書館の理解や資料を有効に活用するための活用講座や生涯学習支援のためのいちほら市民大学と連携した講座等を開催します。	拡充
18	〔映画会の開催〕 子どもを対象にした「子ども向け映画会」、大人を対象にした「大人のための映画会」を開催し、視聴覚サービスの周知と利用促進に努めます。	拡充
19	〔リサイクルフェアの開催〕 中央図書館で不用になった図書・雑誌の有効活用を図るため、団体向け、個人向けにそれぞれ「本と雑誌のリサイクルフェア」を開催します。	継続
20	〔特集コーナーなど各種企画展示の実施〕 市原市に縁のある、人物、観光、スポーツ等各種の特集コーナーや、時の話題や季節に応じた展示を行うとともに、展示している本のリスト配布など、本との出会いを広めます。	継続
21	〔子ども向け講座の開催〕 図書や中央図書館に親しみを持てるよう、音楽や工作などの体験型講座を開催します。	継続

2 2	【おはなし会の開催】 読書習慣のきっかけとなるよう、子ども向けや大人向けのおはなし会を開催します。	継続
2 3	【子ども読書感想画コンテストの開催】 子どもの関心を高めるため、小学生・中学生から読書感想画を募集し、優秀作品については、館内展示や子ども読書活動推進のために活用します。	継続
2 4	【一般向け講座の開催】 市原の歴史や文化財、また文学や経済などの教養を深める機会の提供として、中央図書館を利用されない人にも中央図書館に関心を持っていただけるように社会の動きや関心の高いテーマなどの各種講座を開催します。	継続
2 5	【集会室・視聴覚ホールの活用促進】 調べ学習や、読書に係る市民活動を支援するため、集会室・視聴覚ホールの活用促進を図ります。	継続
2 6	【読書週間イベントの開催】 春の「こども読書週間」に因んだ子ども向けイベントの開催や「秋の読書週間」に一般向けイベントを開催し、中央図書館の魅力をアピールします。	継続



(1) 幼稚園、保育所、認定こども園、小学校等との連携によるサービス

市内の各地域では、多くのボランティアによる読み聞かせや、読書習慣のきっかけづくり、読書環境の向上に関わる取組を行い、豊かな感性や想像力を磨けるよう、読書活動の推進を行っています。

中央図書館では、幼稚園・保育所等と連携して、中央図書館が主催する親子向け事業情報の提供や、おはなし会、館内見学など読書のきっかけづくりや保護者への啓発を実施します。

また、小学校と連携して、調べ学習の支援、団体貸出に係る案内や情報提供などで、読書環境の整備や読書環境づくりを行います。

◇取組内容◇

事業 番号	事業内容	新規・拡充・ 継続の別
27	【発達段階に応じた支援】 乳幼児から小学生までの発達段階や日常生活に応じて、資料の収集を行うとともに、教職員との情報交換や、おすすめ本のブックリスト、利用案内の配布などを行い連携の強化を図ります。	拡充
28	【学校図書館等との連携】 学習教材や調べ学習に必要な本の選書に限らず、中央図書館職員が、学校での出張おはなし会・ブックトークなど、直接児童・生徒、保護者、教職員との交流を深めることで、読書普及の活動に取り組みます。	拡充
29	【館内見学や職場体験の受入れ】 中央図書館員の体験を通して、中央図書館を知ってもらい、本の楽しさや、身近に感じてもらえるよう、館内見学や職場体験の受入れ、一日図書館員事業を行います。	継続
30	【子ども読書活動推進支援連絡会議の開催】 教職員、学校司書、中央図書館員等で構成する連絡会議を開催し、読書活動推進の方策を協議します。	継続

3 1	〔児童サービス用品の貸出〕 紙芝居の舞台、エプロンシアター ※2 2 等、子どもの読書活動に使用する機材や用品の貸出を行います。	継続
-----	--	----

(2) 中学校や高等学校との連携によるサービス

学校での読書推進のため、各中学校への団体貸出 ※2 3 を行っているほか、館内にティーンズコーナーを設け、中学生・高校生へ読書を親しむ機会の提供を行っています。

「調べ学習」などの学習支援を行うため、図書の充実や、職場体験・インターンシップの受け入れ、中学生・高校生向け情報誌の発行などを行い、市原への愛着と誇りを持って成長できるよう、より一層の連携協力を図ります。

◇取組内容◇

事業番号	事業内容	新規・拡充・継続の別
3 2	〔中学生・高校生向け講座等の実施〕 読書への関心や興味を引き出す出前講座の実施や中学生・高校生が参加する芸術・文化イベントの検討を行います。	新規
(再掲) 1	〔子どもとともに取り組む読書活動〕 ブックリストの作成、イベントの開催など、子どもとともに読書活動に取り組みます。	新規
3 3	〔ティーンズコーナーの充実と広報〕 ティーンズコーナーの図書の充実を図るとともに、おすすめ本のリストや、中学生・高校生向けの情報誌の発行を行います。	拡充
(再掲) 2 8	〔学校図書館等との連携〕 学習教材や調べ学習に必要な本の選書に限らず、中央図書館職員が、学校での出張おはなし会・ブックトークなど、直接児童・生徒、保護者、教職員との交流を深めることで、読書普及活動に取り組みます。	拡充
3 4	〔職場体験やインターンシップの受け入れ〕 図書館員の体験を通して、本の楽しさや、身近に感じてもらえるよう中学生の職場体験や高校生が就業体験を行えるインターンシップの受け入れを行います。	継続

※2 2 エプロンシアター

胸にかけたエプロンに、動物の絵などを貼って展開するおはなしや歌あそび。

※2 3 団体貸出

学校や地域の読書活動を支援するため、中央図書館が行っている団体への貸出制度。登録団体は幼稚園・保育所（園）・小中学校・学童保育・地域文庫・その他の官公署等。

(3) 地域との連携や、読書ボランティアの活用によるサービス

多様化する市民ニーズに応え、図書館サービスの充実を図るため、地域で活躍する文庫会などのボランティア団体との連携に取り組みます。

また、読書ボランティアとの協働の場を広げていきます。

◇取組内容◇

事業 番号	事業内容	新規・拡充・ 継続の別
35	〔読書ボランティアとの協働の場の拡充〕 読書ボランティア人材バンク制度を活用し、ブックスタートや読み聞かせフロアワーク ※24、本の修理、各イベントに連携して取り組むとともに、図書館サービスのサポートなどボランティアとの協働の場を拡充していきます。	拡充
36	〔読書ボランティアの養成〕 図書修理や読み聞かせ、障がい者支援など知識や技能が求められる活動についての研修、スキルアップ講座を開催します。	拡充
37	〔地域の文庫会等の連携〕 地域で活躍する団体への出前講座の実施や、団体貸出の案内や情報提供を行います。	継続

(4) 関係機関との連携によるサービス

社会環境の変化や市民の生活環境の変化などに役立つ、専門的な情報やノウハウを持つ企業や団体、市の関係部署と連携を図り、図書館サービスの充実に取り組みます。

◇取組内容◇

事業 番号	事業内容	新規・拡充・ 継続の別
38	〔地域関連機関との連携〕 医療関係機関や保健所、法律関係機関、商工会議所、ハローワーク、観光協会などと連携し、講演会や展示などの検討、専門図書等の情報収集や提供を行います。また、連携する関係機関の拡大を図ります。	拡充
39	〔点字図書館等との連携〕 点字図書館等と連携して、障がい者サービスの拡充を図ります。	拡充

※24 読み聞かせフロアワーク

読書ボランティアによる、本や紙芝居の読み聞かせ活動。

40	〔雑誌スポンサー制度 ※25 を活用した企業連携〕 雑誌スポンサー制度により、民間企業の力を活用し、中央図書館における雑誌数の拡充を図ります。また、企業においては、公共の場での広告事業として、連携を深めます。	継続
41	〔市関係部局との連携〕 行政に係る資料をはじめ、業務上必要となる市内レファレンスの拡充や、関係各課と連携した講座やイベントなどを開催します。	継続

（５）公民館・コミュニティセンターの図書室との連携によるサービス

公民館・コミュニティセンターとのネットワークを活用し、地域の実情を把握することにより、読書活動の推進に一体となって取り組みます。

◇取組内容◇

事業 番号	事業内容	新規・拡充・ 継続の別
42	〔公民館・コミュニティセンターの図書室との連携〕 中央図書館と公民館・コミュニティセンターの図書室との連携を深め、より効果的な読書活動の推進に努めます。	継続

（６）大学との連携によるサービス

社会環境の変化や市民の生活環境の変化などに役立つ、専門的な情報やノウハウを持つ大学と連携し、図書館サービスの充実に取り組みます。

◇取組内容◇

事業 番号	事業内容	新規・拡充・ 継続の別
43	〔大学との連携〕 司書資格の取得や職業意識の向上に資するため、大学生の司書課程実習、インターンシップの受け入れを行います。また、図書館を備えた近隣大学等との連携の拡充を図ります。	拡充

※25 雑誌スポンサー制度

企業等に、雑誌の購入費を負担していただき、その雑誌の最新号カバーにスポンサーの名称と広告を掲載する制度。

(1) 館内環境の整備

中央図書館の年間入館者数は、延べ462千人、また、読書施設の個人登録者数は、約130千人で、人口の約46.5%の方が中央図書館を一度は利用している状況となっています。今後、未利用者をはじめ、あらゆる年齢や職業の人の利用促進に向け、利用者のニーズに配慮しながら、閲覧席の増設や自動販売機の設置、館内レイアウトの変更など快適で便利な図書館を目指します。

施設面では、老朽化が進んでいるので、施設の適切な維持管理に努めます。

◇取組内容◇

事業 番号	事業内容	新規・拡充・ 継続の別
44	〔自動販売機の設置検討〕 中央図書館には、冷水器を設置しておりますが、給水手段の拡充として、自動販売機の設置を検討します。	新規
45	〔乳児・幼児用スペースの整備〕 授乳場所の確保や、ベビーカーの設置など子育て世代が、利用しやすい館内環境づくりを行います。	拡充
46	〔バリアフリーに配慮した整備〕 弱視者への案内表示、誘導ブロックの設置などバリアフリー化を図ります。	拡充
47	〔適切な施設の保全〕 利用者が安全・安心に施設を利用できるように計画的な改修工事を行います。	継続
48	〔レイアウトの変更〕 見やすく調べやすい、読みやすい書架の配架 ※26 や椅子の配置など、過ごしやすい空間を提供します。	継続

※26 配架

図書館資料を所定の配列順序に基づいて書架に並べること（「排架」とも言う。）

(2) 利用者のニーズに合わせたサービス

中央図書館は、すべての市民が快適で便利に利用できる必要があります。このため、障がい者、外国人、子育て世代、高齢者向けサービスの配慮が必要となります。

そこで、身近な学びの施設として、誰もが気軽に快適に利用できるサービスの提供を図ります。また、施設入所者や交通事情などの諸事情により、来館が困難な方へのサービスも検討していきます。

◇取組内容◇

事業 番号	事業内容	新規・拡充・ 継続の別
4 9	〔来館困難者へのサービス〕 読書施設への来館が困難な人のため、読書施設以外での資料の受け取りや返却ボックスの設置などを検討します。	新規
5 0	〔開館時間・開館日数の拡充〕 開館時間や開館日数の拡充を検討するなど、より充実したサービスの向上を図ります。	拡充
5 1	〔高齢者サービスの充実〕 大活字本の収集・提供、拡大読書器の利用促進、出張おはなし会や映画会の開催など中央図書館を利用する機会の提供を図ります。	拡充
5 2	〔子育て世代へのサービスの充実〕 幼児向け集団健診時に、絵本の読み聞かせを体験するブックスタート事業実施します。また、幼児向けのおはなし会の実施や子育て支援コーナーの充実を図ります。	拡充
5 3	〔多文化サービスの提供〕 多言語による絵本の読み聞かせや他国の文化を知るための本の紹介など、外国文化に親しむサービスを実施します。	継続
5 4	〔障がい者サービスの充実〕 録音図書、DAISY図書、サピエ図書館によるDAISY図書の提供、拡大読書器、対面朗読サービスの広報を行い、利用の拡大を図ります。また、障がいを持つ子どもの読書活動を支援するため、さわる絵本・布の絵本等の整備を図ります。	継続

5 5	〔市民ニーズの把握〕 疑問や要望について、「図書館へちょっとひと言」として、常時、受け付けます。 また市民の満足度を継続的に把握するため利用者アンケートを実施します。	継続
5 6	〔外国人向けサービスの充実〕 多様な分野の外国語資料や、外国語絵本の整備を図り、また、日本語学習のための参考資料やガイドブックなど、ニーズに応える資料の収集・提供を図ります。	継続

（３）ＩＣＴを活用した図書館サービス

情報化社会の進展に伴い、より早くまた多くの情報を入手するために、パソコンやスマートフォンなど電子媒体の利用が定着してきましたが、中央図書館では、インターネット閲覧用パソコンを設置し、各種のオンラインデータベースの利用にも対応してきたほか、自動貸出機の設置を行っています。

快適で便利なサービスを行うため、ＩＣＴを活用した利用環境の充実を図るとともに、オンラインデータベース等の利用講座の開催や図書館資料を検索する根幹となる図書館システムの構築を行います。

◇取組内容◇

事業 番号	事業内容	新規・拡充・ 継続の別
5 7	〔オンラインデータベース利用講座〕 中央図書館で利用できるオンラインデータベースの使い方などの講座を実施します。	新規
5 8	〔電子書籍の導入検討〕 電子書籍は、音声出力や文字の拡大等が可能なため、高齢者や障がい者などのサービス向上につながることから、調査研究し、資料提供のあり方を検討します。	新規

59	〔インターネット利用環境の充実〕 利用者が、調査・研究を効率的に行えるよう、Wi-Fi（無線LAN）※27 環境の整備や、利用状況に応じた閲覧用パソコンの増設を検討します。	新規
60	〔市原市立図書館ホームページ等の充実〕 市原市立図書館ホームページ等の便利で利用しやすい情報発信を図ります。	拡充
61	〔図書館システムの充実〕 蔵書検索の抽出項目、文字の大きさなどを検討し、利用者の利便性が高いシステムを導入します。	継続

（４）地域情報・市の発行チラシの情報発信

中央図書館は、地域の情報発信拠点として、市役所からのお知らせをはじめ、公共機関やコミュニティ情報の収集・保存・発信を図ります。

◇取組内容◇

事業番号	事業内容	新規・拡充・継続の別
62	〔地域情報・市の発行チラシによる情報発信〕 地域情報誌をはじめ、地域における課題解決の参考となる情報の発信を行うとともに、市で発行しているチラシやポスターを配布し幅広く広報に努めます。	拡充
63	〔市原市立中央図書館報「こすもす」による情報の発信〕 館報「こすもす」により、中央図書館情報の認知度を高めるため、PTAや商業施設等での配布を検討し、発行部数や発行回数の拡大に努めます。	拡充

.....
 ※27 Wi-Fi（無線LAN）

ケーブルを使用せずに、無線によってノートパソコン等から、インターネットに接続するサービス。

第5章 計画の推進体制

この計画で示した基本目標を推進するためには、常に事業等の進捗状況を検証・評価するなど、様々な取組を具現化していくための体制づくりを行う必要があります。また、図書館法第7条の3（資料編p89参照）の規定に基づき、指標（数値目標）の達成状況や各事業の実績を基に自ら点検・評価を行うとともに、市原市立中央図書館図書館協議会※28による第三者評価を行い、計画の推進に関する意見や提言等を聴取して、次年度以降の事業活動に反映させていくことが必要となります。

さらに、図書館法第7条の4（資料編p89参照）の規定に基づき、点検・評価の結果を広く市民に公開し、図書館の運営状況に関する情報を積極的に提供していく必要があります。

1 推進体制

館内に設置している図書館サービス推進会議を、計画の推進組織として、定期的を開催して、計画の進捗状況の検証・評価を行うとともに、事業の遂行上の課題やその解決策等を協議し課題解決を図りながら、事業の計画的・効果的な推進に努め計画の見直しを行います。

また、各公民館・コミュニティセンターに対しては、既存組織の「図書担当者会議」を活用し、計画の進捗状況や評価に関する情報の提供及び意見の聴取等を行い、計画推進への参画を図ります。

2 進捗管理

（1）内部評価の実施

設定した指標（数値目標）の達成状況や個々の計画事業の実績を取りまとめ、各年度のサービス内容について内部評価を行います。

内部評価の結果は、各公民館・コミュニティセンターに周知し、情報の共有化を図ります。

さらに、計画の検証・評価結果などについては、ホームページを通じて広く公表し、中央図書館の運営状況に関する透明性の確保に努めます。

.....
※ 28 市原市立中央図書館協議会

図書館法第14条（資料編p90参照）により、公共図書館に設置できると規定されている。図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕について、館長に意見を述べる機関とする。

市では、市原市立中央図書館設置条例第4条で市原市立中央図書館協議会の設置を規定している。

（２）市原市立中央図書館協議会による第三者評価の実施

指標（数値目標）の達成状況や計画事業の実績等を市原市立中央図書館協議会に報告し、計画の進捗状況や計画を推進するための具体的な方法に関する意見・提言等を聴取し、その後の事業に反映していきます。

（３）事業活動の見直し

内部評価や中央図書館協議会の意見・提言等に基づいて、継続的な施策・事業の改善を図ります。

改善が必要な事業については、可能な限り速やかに実施していくとともに、早急な実施が難しいものについては、計画的な実施方法等について検討し、具現化に努めるとともに、サービス計画の見直し時期に合わせて反映させていきます。

